



期間限定
割引クーポン

次回会計時に何名様でも利用OK!

大人 100円 割引
小人 50円

有効期限 2021年7月末まで

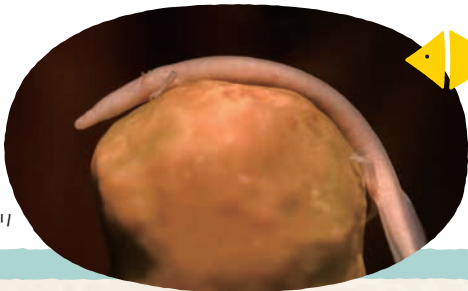
TOPIX

碧南海浜水族館には

ドラゴンの子ども

がいる!?

当館は日本で唯一、ホライモリを展示しています。原産国のクロアチアでは天然記念物に指定されている貴重な生きものです。地元の人々が伝説上のドラゴンと結び付けていたことから、ドラゴンズベビーという別名があります。肌は白く、眼は洞窟にすむため退化しています。変わった姿をしていますが、カエルやイモリなど両生類のなかまです。普段はあまり動かず、石や砂の上でじっとしていることが多いですが、ときどきふと思いついたようにゆらゆらと泳ぎます。上に向かって泳ぐその姿は、ドラゴンのように見えるかもしれません。



ホライモリ

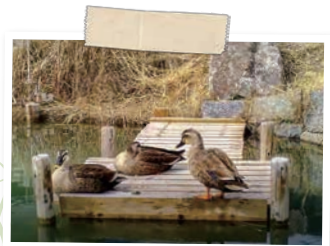


ビオトープにやってくる鳥たち

木々がまだ大きく育っていないビオトープですが、少しずついろいろな生き物がやってくるようになりました。

以前トンボを紹介しましたが、今回は野鳥を紹介します。一番よく目にするのは、スズメとカラスです。次によく見られるのがハクセキレイです。小川や田んぼの周りで小さな虫を探しているようです。池にはカルガモやカワセミもやってきますが、ビオトープを訪れる人が多い時間帯にはどこかに行ってしまう。静かにしていると、カワラヒワやムクドリ・ヒヨドリの声も聞こえてきます。もう少し木々が育ち隠れる場所が増え、餌となる虫や木の実が増えるともっと色々な生き物がやってくるだろうと期待しています。

ビオトープが出来てからこれまでに20種程の野鳥が確認されています。鳥を見つけやすい来館者の少ない時間を狙って、観察に訪れてはいかがでしょうか？



館内ごぼれ話

飼育の難しいアユ

通常アユの寿命は一年前後で、餌も成長すると主にコケを食べるなど飼育の難しい淡水魚です。秋に川の下流で生まれた仔魚は海へと下り、河口近くの海で冬を過ごします。そして春に川を中流から上流域まで遊ります。こうして自然界のアユは約1年後の秋には寿命を終えます。水族館では、長い期間来館される皆様に見て頂けるよう、いくつかの工夫をしています。その一つ目は、水温調節です。水温を年間20度に設定することで季節の移り変わりを感じさせずに寿命を延ばします。二つ目は、照明の工夫です。三つ目は、きれいな水質を保つことです。三つ目が一番大変で、水槽底の石の汚れを取ったり水の入れ替えを頻繁にしたりしています。この飼育の難しいアユを、当館では約300個体飼育しており、見ごたえのある水槽の一つになっています。



清掃中のアユ水槽



速報かわら版

Breaking News

蛇なの? 魚なの? シマウミヘビ登場!

実はシマウミヘビは、爬虫類の蛇ではなく、マグロやマダイと同じ魚類です。海には爬虫類のウミヘビも生息していますが、面白いことに



シマウミヘビは猛毒を持つ爬虫類のクロガシラウミヘビに擬態することで身を守っていると言われていました。

によりよろチンアナゴ水槽に新しく仲間入りしたシマウミヘビは、餌の時間が近づくと砂の中から姿を現し、によりよろ餌を探しながら水槽内を泳ぎます。14時から16時の間に会える可能性が高い水族館のレアキャラと言えます。



探してみよう

